

# 組織・マネジメントコース

## [経営学科1部・2部設置コース]

ここでは2015年度よりスタートした5つのコース制の各コースについて説明します。第1回目は組織・マネジメントコースです。コース制の詳細はこちら。  
<http://ba.hgu.jp/info/1980>



組織・マネジメントコースは、企業・NPO・行政における組織マネジメント能力、社会や組織の中の人間を理解し活かすマネジメント能力の養成を目指しています。

**1年次** 経営学概論I,II、企業論

**2年次**

経営管理I,II、経営組織、組織文化、経営学説史、現代マネジメント理論、グローバル・ビジネス、国際経営、商業簿記、ブランド経営、経営情報、株式会社会計、学習心理学、システム戦略、適応の心理学

**3~4年次**

公共経営論、非営利事業論、人的資源管理、キャリア・マネジメント、経営史、経営システム、経営学原理、コーポレート・ガバナンス、製品開発、ベンチャー経営、企業行動、日本企業論、管理会計、マネジメント・コントロール、心的情報処理、問題解決の心理学、人間行動論、行動意思決定論、組織心理学、チームの心理学

※赤字は本コースの専門科目、青字は関連科目です。  
 卒業には上記の科目から1部42単位以上、2部30単位以上の取得が必要となります。

コース別のカリキュラム表はこちら (学科紹介)



<http://ba.hgu.jp/departament>

コース担当教員の詳細はこちら (教員紹介)



[http://ba.hgu.jp/teacher#p\\_0](http://ba.hgu.jp/teacher#p_0)



組織・マネジメントコースの履修学生に講義の印象を聞いてみました。

### 『経営学概論I・II』（1年次科目、大平義隆教授）

経営学の基盤となる内容が学べる！



**乾 響太** ●出身高校：札幌国際情報  
 ●入学年次：2015年度

1年次科目の「経営学概論」では、主に「経営学の基礎・基盤」となる部分を学べ、ここでの内容は、2年次以降に履修する様々な講義を学習する際に、とても役に立ちます。講義の中で、経営学部で学ぶ「人的資源管理」や「財務管理」などの基礎内容が、大平先生の専門分野である「日本の経営」を踏まえて説明されるからです。加えて、「経営学概論I・II」の学習内容は、ゼミの活動などでも活かされました。以前、ゼミで「企業」について考える機会がありました。その際には、「経営学概論」で学習した「日本とアメリカの経営の違い」が役に立ちました。多くのものを得られるこの講義を、私は、これから経営学を学ぶ1年生に強くお勧めします。

### 『経営管理I・II』（2年次科目、佐藤大輔教授）

『実践力』を磨きたい人にオススメ！



**永井 優生** ●出身高校：釧路湖陵  
 ●入学年次：2015年度

「経営管理」では、企業の内外における管理を、理論とケーススタディを通じて学ぶことができました。前期と後期で基礎から発展的な内容まで扱っていることで、より実践的な経営管理の知識を体系化することができます。「管理とは」という概念的な学習、組織とそれを構成するヒトの管理の仕方を学ぶことができ、それら管理の仕方を方法論の切り口からも学ぶことで、問題解決を主体的に行う手段が一年間で身につきます。この講義では、一般的な経営管理の知識を養うだけでなく、『実践力』を磨くことができます。管理の理解を促進させることで、ゼミ活動やアルバイト等においてチームや組織をまとめる際に、その知識を活用することができました。

### 『組織文化』（2年次科目、近藤弘毅准教授）

歴史と企業の密接な関わり気付けた！



**石田 えみり** ●出身高校：北海  
 ●入学年次：2015年度

私たちが高校までに勉強してきた歴史の中には、数え切れないほどのたくさんの出来事がありました。「組織文化」の授業では様々な時代背景の中、企業が直面した問題点に対しどのような企業行動を起こし解決へ導いてきたのかを学びました。私はこの授業を学ぶまでは、企業行動と歴史、は全く無関係だと考えていました。しかし、企業行動というのは歴史と密接に関わっていることがわかりました。私たちの生活で当たり前に行われている企業行動は、何百年も前の人々が問題に対し真摯に向き合って解決し、企業全体を通して蓄積された歴史のおかげで、今私たちが豊かな生活を送れているのだと感じました。

### 『人的資源管理』（3年次科目、大石雅也准教授）

これからの人生を考えるきっかけになる！



**門脇 健吾** ●出身高校：札幌手稲  
 ●入学年次：2015年度

「人的資源管理」は、社会人になるための心構えを養い、これからの人生をどのように歩むかということを考えるきっかけとなります。講義では、主に日本企業における雇用の仕組みや働き方の特徴を学びます。私は、これらを通して、大学卒業後にどのような社会人生活を歩んでいくのかを知りました。そして、将来の社会人生活を想像して、今、何をすべきか考えることが大切であると考えようになりました。また、私は、「人的資源管理」で得た知見を活用し、アルバイト先の同僚たちの「やめたい」という声を減らすことに成功しました。この経験を通じて、「人的資源管理」は普段の生活や働き方をより良いものにするための学びであると実感しました。